

② 共助

身近な人同士の助け合いで
自分たちの地域を守る

POINT 1 自主防災組織を設立しよう

大規模地震が発生し、建物の倒壊などで中に閉じ込められたとき、多くの人命を救ったのは、家族や近隣の人たちの助け合いによる「共助」でした。そのため、近所の高齢者の安

否確認や避難誘導など、自主防災組織の役割は重要なものとして注目されています。

いざというときに備え、地域を守る自主防災組織の設立と活動を考えてみましょう。

※町では、自主防災組織を設立し、防災用格納庫や資機材の整備を行う

POINT 2 消防団員募集 あなたの力を必要としています

費用、地域防災のリーダーとして活躍する防災士の資格取得費用に対する補助制度を実施しています。詳しくは6ページに掲載しています。

消防団は、地域に密着して防災に取り組む消防機関です。

団員は、自営業や会社員などの仕事を持ちながら、日々訓練を行い、火災等

の災害に出動する非常勤の消防士です。有事の際は、消防署職員と連携して活動するなど、地域の安全・安心を担う重要な組織です。

近年は、大規模な災害の発生が懸念されているなか、団員の減少や高齢化が進み、団員数の確保が課題となっています。

消防団では地域防災の担い手となる方を随時募集しています。

入団要件 18歳以上の者で身体強健であること

③ 公助

災害に強い町を作る取り組み

POINT 1 災害時には防災行政無線でお知らせします

災害の発生が予測される場合や、災害発生時に的確な情報を町民のみなさんにお知らせするため、防災行政無線を整備しています。

町内44か所の屋外スピーカーの他に、各世帯に戸別受信機を設置いただき、速やかに情報を伝えられるように整備しています。

POINT 2 津波避難タワー建設や津波避難ビルを指定しています

津波対策として、津波避難タワー建設や津波避難ビルの指定をします。防災マップなどで場所を確認しましょう。

POINT 3 災害時における各種協定を締結しています

災害が発生した場合、迅速な対応



津波避難タワー

ができるよう、各分野の企業や団体、地方公共団体と災害時における各種協定を締結しています。

津波避難ビル・津波避難タワー

NO	施設名称	所在地
1	テンドーヴィラ九十九里	屋形 5025-3
2	セザールマンション	尾垂イ 3513-39
3	光楽園老人ホーム	木戸 9628-9
4	津波避難タワー	屋形 5275-14
5	白浜小学校	木戸 1334